



身近な情報をお寄せください
(白根市役所企画課広報広聴係 373-2111)

ハーブの魅力、たっぷり紹介

新飯田地区公民館「ハーブ教室」



新飯田地区公民館主催の「ハーブ教室」が、六月二十九日・七月六日に同地区公民館で開かれ、三

十八人が参加。好評を博しました。講座内容は、一回目が基本・入門編、二回目がハーブを使った料理作り。初回は、講師の山口庫幸さん(三川村)が、持参したハーブの苗やポプリなどを見せながら、育て方から利用方法までを詳しく解説しました。その後、二種類のハーブティーを試飲したり、押し花のしおりなどを作ったりして利用方法を体験。ある参加者は「家にハーブがあっても、使い方を知らなくて。料理に薬に、いろんな使い方があると分かって良かったです」と話していました。

プロの技をボランティアに

白根市建築業組合青年部



▲古川保育園でウサギ小屋作り

七月十二日、白根市建築業組合青年部が、ボランティアで市内十

一保育園の修繕に汗を流しました。組合には、建築、排水工事など幅広い業種の皆さんが加入しており、この日は三十八人が自慢の腕を生かして、各保育園の要望に応じて手洗いの修理や鳥小屋作りなどをこなしました。てきぱきと作業が進められ、「さすがはプロの仕事。助かります」と保育園も大喜び。部長の桑原克久さんは「これは今年初めての取り組み。来年からは、一人暮らしのお年寄りの家の修繕も実施したい」と話していました。

働くひとを生きがいに

シルバー人材センターせんだ講習会

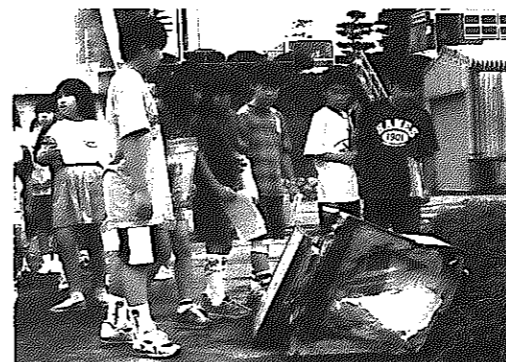


雨の中、松の木を囲んで講師の説明に熱心に耳を傾けるのは、シルバー人材センター会員の皆さんです。センターでは、技術を磨いてもらおうと毎年せんだ講習会を実施。三回目の今回は、七月八日に戸頭浄水場で開催されました。せんだ技術の向上と共に、受注件数も順調に伸び、今年に入ってから受けた仕事は約四十件。すでに昨年の二倍に上っています。シルバー人材センターの仕事

は、せんだなどの技能的な仕事のほか、除草・清掃などの軽作業、あて名書きなどの事務的な仕事など多種多様です。昨年一年間で受けた仕事は七百三十件。毎年順調に受注件数が伸びています。センターでは、現在会員を募集中です。おおむね六十歳以上の健康で働く意欲のある人なら、どんなでも会員になります。年会費は千円で、いつでも申し込みできます。※申し込み・問い合わせは(株)白根市シルバー人材センター事務局(産業厚生会館内) 373・2154へ

冷蔵庫も流れてくるの?!

白根小4年生排水機場見学



七月十日、白根小学校の四年生百十四人が、白根排水機場を訪れ、場内の見学や市内の水の流れについて学習しました。

まずは屋上で市内の川を一望。「真ん中が大通川、左が信濃川、右が中ノ口川。大通川を流れてきた排水はここに集まり、くみ上げられて中ノ口川へ放流されます」と職員の説明を受けました。その後、排水に交じって流れてくるゴミを見学。流れ着いた冷蔵庫を見て、「こんなものも流れてくるんだ」と驚嘆の声を上げていました。

総合公園一帯を文化交流拠点に

連続・見えてきた拠点(仮称)生涯学習センター

市では昨年七月、生涯学習センター建設計画検討委員に市民グループの代表ら十五人を委嘱。建設計画検討委員会を発足させ、具体的な構想を市民の手にゆだねました。その一方、九月には一般市民を対象に、「(仮称)生涯学習センター市民説明会」を開催。幅広い市民からの意見、提言を求めました。

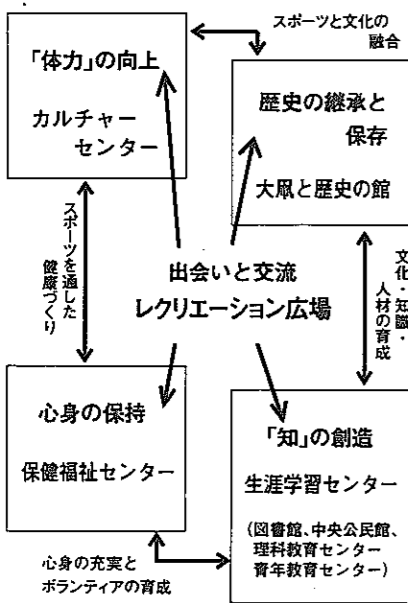
■市民説明会

九月八日、説明会の場となった青年教育センターの体育館には、一般市民約四十人が参集。生涯学習センターの基本的な考え方について説明を受ける一方、市民の立場から意見、提言

■文化交流拠点構想

建設位置について竹内市長は「まだ検討段階である」と前置

「市民の文化交流拠点」基本理念図



■市民説明会



きた上で、「現在の教育委員会、青年教育センター、総合公園付近の三つの場所のいずれかを考えている。中でも、さまざまな施設が連携し合える総合公園付近がベストと思う」と説明しました。

竹内市長の言う「施設の連携」の根底には、文化交流拠点構想があり、その基本理念は図に示したとおりです。総合公園一帯を生生涯学習の活動拠点ゾーンとして位置づけ、その中の諸施設を用いて、市民が生涯を通じて、いつでも、どこでも、だれでも、何でも学習できるようにしようというもの。第四次総合計画の後期計画に上げている(仮称)保健福祉センターの建設も見通したものとされています。これらの説明を受け、一部の出席者からは「予定地に建てる

人気ピアニスト、地元初のリサイタル

小杉真二ピアノリサイタル



七月六日、しろね大風と歴史の館で白根市出身の若手ピアニスト小杉真二さんのリサイタルが開かれました。小杉さんは、新飯田の出身。昨年、テレビドラマで人気俳優のピアノシーンの振り替えをしたことが話題になりました。チケットは発売から一週間で完売。会場は三百人を超す人で満員となりました。「白根の公の場で演奏するのは初めて。楽しみにしていました」と小杉さん。自ら演奏曲や作曲家の解説などもこなし、ショパンやシューベルトの曲など全九曲を演奏しました。澄んだ音色が場内に響きわたると、聴衆は演奏に聞き入っていました。訪れた人は「素晴らしい演奏でした」とこころり。満了した様子で家路に着いていきました。

ことよって、旧市街地がさびた。ただし、イベントなどのときは町との交通連絡も考えてほしい、「予定地には賛成。大事業書館などが遠くへいくことで利のときは将来を見据えた判断が重要。新しい地には新しい核が配」などの声が上がりました。一方、「さまざまな施設を利し合うことで、同じ事業や部屋が重複するような建設は避けたい」という意見もあつた。また、下地区の住民のことも考えて「造ってほしい」など、期待のこもった意見が多く聞かれました。